

担い手のライフサイクルに応じた支援

タイトル 農業経営診断研修の開催

J A 名 J A 宮崎県信連 (宮崎県)

<p>1 動機 (経緯)</p>	<p>本会は、昭和44年より平成元年までの21年間に農家経営指導のできるJA職員の養成を目的に、「農家経営調査研修」の名称で延べ145名を受入れ、3ヶ月をかけて金融全般、畜産簿記、営農技術、経営調査・分析手法等の指導を行ってきました。</p> <p>その後、中断していましたが、昨今の農業情勢をとりまく環境激変による農家経営の悪化や、他業態による農業分野への攻勢等に対する危機感から、平成19年度より「農業経営診断研修」の名称で復活し、農家経営のコンサルタント能力を持ったJA職員を育成することで、組合員農家のニーズの充足、ひいてはJAの融資機能強化へと寄与させるべく取り組んでいます。</p>
<p>2 概要</p>	<p>当該研修は、年2回上期と下期に開催し、受講生の経験度に応じて、それぞれ6～7週間実施しています。</p> <p>研修は、本会研修室にて、少人数によるほぼマンツーマンに近い状況で行い、金融法務、農業簿記、経営分析・診断理論、演習、経営改善策策定等を履修します。</p> <p>最終日に、自JAの常勤役員や関係職員を前に、自JAから提出された経営体サンプルの経営分析・診断結果を発表した後、全員で内容を協議することにより、効果の高い研修を目指します。</p>
<p>3 成果 (効果)</p>	<p>平成19～25年度までの7ヵ年で12回開催し、9JAから24名が受講しました。</p> <p>受講生は、現在、経営支援部署、融資部署、営農指導部署等に在籍、最前線にて組合員への相談・指導業務にあたっています。</p>
<p>4 今後の 予定(課題)</p>	<p>当研修で得た知識や技術をいかに発展させていくかが課題であり、25年度は研修生のフォローアップとして試算表から財務諸表を作成した後、グループ毎の経営分析の演習・発表を行い、最後に県営農支援課や県畜産協会の職員からアドバイスを頂きました。</p> <p>26年度は、受講生を対象にしたJA巡回を行い、経営体サンプルの分析手法や改善方策等研修成果のさらなる充実を図るためのフォローアップ研修も計画しています。</p>